

総務企画委員会 提言書

平成 27 年 6 月 5 日

宇 都 宮 商 工 会 議 所
総 務 企 画 委 員 会

目 次

- 1 はじめに
- 2 商工会議所会員数の増加に関する提言
 - (1) 役員・議員の積極的な新規入会勧奨と数値目標の設定
 - (2) 会員メリットの明確化
 - (3) 新規事業の創出と既存事業の廃止
- 3 構造改革に関する提言など
- 4 委員会開催状況
- 5 総務企画委員会 委員名簿

1 提言（はじめに）

現在、宇都宮商工会議所が抱えている喫緊な課題のひとつとして、会員数の減少が挙げられる。

当委員会では、北村会頭からの命を受けて「会員数の拡大と退会防止」を主テーマとして検討を行ってきた。

宇都宮商工会議所の会員数は、平成9年の8,747件をピークに、事務局職員を中心とする新規入会の実績はあるものの、廃業や倒産を主な要因とする退会件数が新規入会件数を上回る純減傾向がここ数年継続している。

会員組織である商工会議所の会員数が減少することで会費収入が減少し、事業予算が緊縮されることとなり、必要最低限の予算で実施する事業は、その成果や効果が見えにくくなる。

また、相談対応件数や実施事業数の減少は、職員の課題解決スキルやモチベーションの低下をもたらし、地域総合経済団体としての当商工会議所の機能と存在価値の低下に直結することとなる。

商工会議所は、戦後の経済復興を目的に昭和28年に制定された商工会議所法に基づき運営されている。日本はその後、高度経済成長やバブル経済、IT革命を経て成熟した社会経済へと成長し、多くの制度や仕組みが大きく転換を遂げている。

旧来の制度はすでに制度疲労を起こしている可能性が極めて高く、制度の穴を塞ぐような対症療法では常に変化する社会とのかい離はますます広がるだけであり、制度そのものを抜本的に精査して新しく構築する必要があると考える。

既存の制度を全否定することは難しいが、会員数が増加することによって商工会議所の機能強化を図るとともに、時代の変化に対応して常に会員ニーズにこたえ続け、管内企業や地域から「期待感と信頼感」を寄せられる経済団体として変革を成し遂げるために、本委員会では、下記のとおり提言する。

2 商工会議所会員数の増加に関する提言

(1) 役員・議員の積極的な新規入会勧奨と数値目標の設定

商工会議所新規入会の過程は大部分が事務局職員による加入勧奨となっているが、会員数の減少傾向継続化は会員数に対する役員・議員の意識低下に一部の要因があるものと推測される。

そこで、役員・議員が事務局と一体となって、商工会議所の事業を理解したうえで新規入会と退会防止に取り組む必要があり、取引先への入会の声掛けや事務局への紹介のほか、一人当たり、2件程度の新規入会目標値の設定や、目標達成者を顕彰するなどのアクションプランの導入を提言する。

(2) 会員メリットの明確化

商工会議所に限らずに、さまざまな団体で会員数減少に直面しており、その根幹は会員メリットが見えない・分かりづらいところにあるものと推測される。

今後は、管内企業の入会がさらに促進されて、会員事業所の退会を防止する魅力的な事業を創出するとともに、その事業を従来の手法とは異なる方法により、会員・非会員問わず広く周知することを提言する。

(3) 新規事業の創出と既存事業の廃止

会員メリットを明確にするために、魅力的な新規事業を創出して実施に至るまでには、相当数のマンパワーが必要である。しかしながら、現在の事務局は職員が相当数の事業を担当しており、旧来の事業を継続しながら新規事業を実施することは、事業の効果や精度が薄れることとなる。

そこで、新規事業実施後の成果を高めるために、既存事業の成果を精査して勇気ある事業の廃止を提言する。

3 長期的な構造改革に関する提言

時代とともに、商工会議所に求められる期待が大きく変化している現在、商工会議所が会員ニーズへの迅速な対応などによってその存在感を大きく示すためには、3か年の会員事業所巡回で得られた会員事業所の生の声の精査や、110周年・120周年期の提言内容の検証など、役員・議員が積み重ねてきた議論を焼き直すことではなく、新たな次元に踏み出すための一歩にする必要がある。

そこで、宇都宮商工会議所が存在価値を高め、広く管内事業者から認知されて、より多くの事業者から信頼される団体として存在できるよう、宇都宮商工会議所の構造的な諸問題を解決するために、発想の転換と既存の枠組みの改革を提言する。

また、総務企画委員会で検討される事案の実現可能性を高めるために、委員会開催時に正副会頭の参画を要請する。

なお、具体的な構造改革のプランニングは本委員会で今後提案することとする。

4 委員会開催状況

(1) 第1回委員会

ア 日 時 平成26年3月26日(水) 午前10時30分～正午

イ 場 所 宇都宮商工会議所 常議員会室

ウ 出席者 委員7名・事務局7名

エ 議 題

(ア) 総務企画委員会の設置について

(イ) 総務企画委員会の活動について

宇都宮商工会議所の事業・組織・運営について

(ウ) 意見交換

(エ) 宇都宮商工会議所創立120周年記念事業の報告について

(2) 正副会頭と総務企画委員会委員との意見交換会

ア 日 時 平成26年6月11日(水) 午後4時30分～午後5時50分

イ 場 所 宇都宮東武ホテルグランデ 龍田

ウ 出席者 会頭・副会頭3名、委員8名、事務局7名

エ 内 容

(ア) 宇都宮商工会議所会頭所信「今、商工会議所が取り組むべきこと」

(イ) 宇都宮商工会議所 須賀副会頭「今の動きなど」

(ウ) 意見交換

(エ) 懇談会

(3) 第2回委員会

ア 日 時 平成26年7月22日(火) 午後3時～午後5時

イ 場 所 宇都宮商工会議所 常議員会室

ウ 出席者 委員6名、事務局6名

エ 内 容

(ア) 当所正副会頭と総務企画委員会委員との意見交換会について

(イ) 当委員会における協議事項について

(4) 第3回委員会

ア 日 時 平成26年10月9日(木) 午後3時～午後5時20分

イ 場 所 宇都宮東武ホテルグランデ

ウ 出席者 委員7名、事務局4名

エ 報告事項

(ア) ポイントカードの実施事例について

(イ) 会員優待カードの実施事例について

オ 協議事項

(ア) 宇都宮商工会議所の会員サービス事業について

(イ) 各地商工会議所の会員サービス事業について

(ウ) 宇都宮商工会議所会員数増加の方策について

(5) 第4回委員会

ア 日 時 平成27年3月10日(火) 午後1時45分～午後3時

イ 場 所 宇都宮商工会議所 常議員会室

ウ 出席者 委員6名、事務局6名

エ 報告事項

(ア) 宇都宮商工会議所新規入会実績並びに会員数について

(イ) 異業種交流の事例紹介について

(ウ) 他団体の会費基準額について

5 総務企画委員会委員名簿(平成27年3月現在・敬称略)

委員会役職	氏 名	事業所名	役職
委員長	中津 正修	トヨタウッドユーホーム(株)	代表取締役
副委員長	藤井 昌一	藤井産業(株)	代表取締役
委員	青木 直樹	青源味噌(株)	代表取締役会長
委員	笠原 正人	アサヒタクシー(株)	代表取締役
委員	金 中烈	(株)南大門ホールディングス	代表取締役会長
委員	加治 康正	加治金属工業(株)	代表取締役
委員	喜谷 辰夫	トヨタカローラ栃木(株)	代表取締役社長
委員	佐藤 節	パスキン工業(株)	代表取締役
委員	辻 博明	(株)浄邦堂	代表取締役
委員	菊地 正敏	(株)栃木銀行	専務取締役
委員	安藤 英夫	(株)安藤設計	代表取締役会長